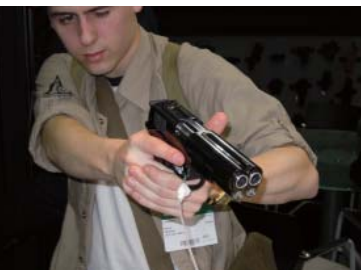


# CONTENTS COMBAT

2012.Jun.  
No.435

5

Cover Design  
Raidensha(Hidetaka Koyanagi),  
Cover Photo  
Toru Yokota  
©WORLD PHOTO PRESS 2012



【第1特集／海外リポート】

## 014 アフガニスタン、 最後の部隊「NTM-A」 内山 進少佐

●取材／横田徹

## 038 超初心者向け！ はじめてのグアム実弾射撃ガイド

●Photo by taku ●Text by Yui Kamiya

## 076 The US Marine Corps' New M27 Infantry Automatic Rifle 海兵隊の新型分隊支援火器 M27 IAR

●Photos&Text by Robert Bruce, USA Military Affairs Editor  
●Translation by Yu P. Eiwaikee

【第2特集／ミリタリーグッズ】

## 056 コンバットのフラッシュライト特集 後編 いまこそ見つめ直そう！ ほんとうにその懐中電灯でOKですか？

●Photos&Text by Tomoyuki Orimoto

【第3特集／トイガンリポート】

## 020 東京マルイ STEYR HC TAN COLOR

●Text by Taku ●Photos by Taku & Yui Kamiya

## 028 WESTERN ARMS SCREEN PROPERTY SERIES

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

## 004 NEW GENERATION STYLER OPERATION SFOD-D PROFILE 1

●by:fujiwara

## 034 WESTERN ARMS ULTRA TLEII

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

## 046 GOODS & ACCESSORY

## 052 国際狩猟・スポーツ銃器・アクセサリ・アウトドアグッズ専門見本市 IWA & Outdoor Classics

●リポート：清谷信一 (Shinichi Kiyotan)

## 063 トイガンニュース

063 マルゼン JASG APS-3 黒須成美リミテッド

064 M4A1マグプル・ライフルレンゲス・カスタム  
タン・カラー・バージョン

064 WA MEUピストル・レイト・モデル／バトルダメージ

065 WA 電撃1911

065 WA M92FSリーサル・ウエポン／バトルダメージ

065 WA SVインフィニティ・エクセレーター5.0&6.0／Ver.2012

066 セクトー LCT電動ガンシリーズ

## 070 ロンドン五輪前夜のスペシャル企画！今、大注目の女性アスリート！ ロンドン五輪・近代五種女子日本代表 黒須成美選手に、コンマガが肉薄する！

●取材：狩野健一郎 ●写真：編集部

## 072 世界の兵士図鑑

大日本帝國海軍の軍装 その② 士官の礼装

●イラスト・解説：坂本 明

## 085 Militaria Roundup!

U.S. ARMY 下士官兵用ユニフォーム

●解説：菊月俊之

## 096 サープラスいじり技術研究所

●写真・文：織本知之

## 130 The Equipments of the U.S. Force

【現用米軍装備カタログ】第90回

陸軍レンジャー部隊に納品されたロードキャリングキット RLCS

●解説：松原隆 (高知ボンバース) ●撮影：山崎学

## 138 月刊 自衛隊「ニッポンのちからこぶ」

第1師団 創立50周年記念行事

●取材：菊池雅之

## 142 PRESENT

## 184 S&Grafグッズ

## 186 中田商店グッズ

## 097 GAME OVER THE TOP!

100 物欲ワンホール

Round 09：焚き火のお供“ライター”パート1

104 レア・ミリタリー・テクノロジー

108 ミリタリー雑学講座

112 ミリタリー・コレクション

114 幻妖中隊 #mod.10 ●by FUJIWARA

116 APS公式練習会 in京都

117 こちら神保町軍装店

118 A STITCH IN TIME

119 MGストーリー ～小峯隆生のできるまで～

122 蛙のゆびさき (中山 蛙)

124 トイガンズジャンクション

161 バックナンバーリスト

162 君は何と闘うのか ～世間の常識との闘い方～ ●文：甲野善紀

164 帰ってきた 狩野健一郎の [監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]

166 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

168 ビバ! ナイフ

170 狩野健一郎のシネマ放浪記

171 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記



# 内山進少佐

**NTM-A**  
**NATO-Training Mission-**  
**Afghanistan**

取材／**横田 徹**

樫の葉をデザインした少佐の階級章と胸のホルスターに収められた内山少佐の愛用のベレッタM9拳銃。'07年のイラクでは武装勢力の猛攻を受けた際にこのM9で反撃した。

アフガニスタン東部、ホースト州にある警察訓練センター。この日も朝から警察官を志望する若者たちが厳しい訓練を受けていた。

訓練場には積み上げたコンテナで作られた仮想の市街地。建物に立て籠るテロリストを逮捕するというシナリオでの訓練。7人チームの訓練生が360度を警戒しながら目的の建物に接近していく。アフガニスタン人教官がライフルの安全な扱い方、建物に身を隠し仲間を援護しながらの移動など細かくチェックする。8週間の訓練を終えて卒業を控えた訓練生だけに動きに無駄がない。訓練を見守るのはNTM-A (NATO Training Mission-Afghanistan) に所属する米

軍兵士とヨルダン国家警察の警察官だ。NTM-Aには米軍のほかにフランス軍、スペイン軍、チェコ軍、ポーランド軍など多国籍の軍隊と警察によって編成され、訓練施設や銃器の管理、訓練教官に適切なアドバイスをするのが主な任務だ。NTM-Aのチームの中にひとりの東洋人の姿があった。190cmの身長は大柄な米軍兵士に混じっても人目を引く存在、彼がNTM-Aの訓練隊長の内山進少佐だ。

「このような施設があるのはホースト警察訓練センターだけです。部下たちが工夫して作ったものです。訓練生は卒業すると国境警察に配属されます」

アフガニスタンでもとくに治安が悪いパキスタン

TOKYO MARUI

Text by Taku  
Photos by Taku & Yui Kamiya

# STEYR HC TAN COLOR

東京マルイ: <http://www.tokyo-marui.co.jp>

人気のハイサイクルカスタムモデルに  
タンカラー登場!!

サバゲにシューティングに  
大活躍のハイパフォーマンスモデル。



ついに発売する「STEYR HC TAN COLOR MODEL」。  
ストックとショートフォアグリップの成形色をタン  
カラーにしただけで、ここまで銃の印象は変わる。



電動ガン ハイサイクルカスタム  
ステアーHCタンカラー

- 全長：610mm
- 重量：2,680g
- 装弾数：330発
- 価格：¥36,540（予価）

## ステアーAUGとは？

機関部をストック側に収めたブルバップメカニズムを採用した「STEYR AUG」が登場したのは1977年のこと。従来までのアサルトライフルのそれとはかけ離れた近未来的なフォルムは発表と同時に話題となり、性能的にも優れていたことから、瞬間にM16やAK47などと並び称されるアサルトライフルとして世界の国々で認知された。

このアサルトライフル製造したのは、オーストリアの銃器メーカー「STEYR MANLICHER」で、オーストリア軍向けに開発したモデルである。『STEYR AUG』というのは民間モデルの名称で、オーストリア軍が採用した際の制式名称は「STG77」という。AUGを、略さずにと書くと、Armee Universal Gewehr（アーミー・ユニバーサル・ゲベール）。それぞれの頭文字を取ってAUGとなる。

ステアーAUGもそうだがGLOCKシリーズを生み出したのもオーストリアである。こういった斬新なメカニズムを生み出したのが同じ国だというのは不思議なハナシだ。



スタンダードのブラックモデルと並べてみるとイメージの違いがよく判る。シンプルなブラックか、それともタンカラーを選ぶのか、選択が難しいところだ。

# 超初心者向け！ はじめての グアム実弾射撃 ガイド

●Photo by taku ●Text by Yui Kamiya

●取材協力：グアム野外射撃場G.O.S.R.（グアムアウトドアシューティングレンジ）<http://www.gosrjapan.com/>

射撃場の  
安全な利用方法から  
おすすめ  
観光スポットまで  
紹介します!!

## グアム旅行のすすめ

私こと、上矢ゆいはトイガンを始め  
て7年目になります。トイガンを始め  
るまでは、ほとんど海外に行ったことが  
なく、英語も全然話せませんでした  
が……（いまだに！）。しかし、なぜか縁  
あって、グアムの実弾射撃場によく足  
を運んでいます。もし、『射撃』とい  
うきっかけがなかったら、今頃は部屋  
でオンラインゲームにひたすら精を出  
していることでしょう（笑）。

そんな、元来“ひきこもり”な私で  
すが、毎年欠かさず通ってしまうほど、  
グアムはお気に入りの場所でもありま  
す。1年中いつ行っても暖かく、海は透  
き通っていて綺麗だし、人は優しいし、  
空は驚くほど真っ青で、花粉もないし  
♪（←ここ重要）。

そんな中での射撃って、想像する  
だけでも楽しそうな予感がしませ  
んか……？

# コンバットのフラッシュライト特集 ほんとうにその懐中電灯でOKですか？

Photos&Text by Tomoyuki Orimoto

●問い合わせ先: 七洋交産 ☎06-6745-1815 (<http://surefire.militaryblog.jp/>)、●トルーパーズ ☎03-3901-2271 (<http://www.troopers1.com/>)、●DSIクラブ ☎06-6582-1539 (<http://www.dsiclub.com/>)、●中田商店 ☎03-3839-6866 (<http://www.nakatashoten.com/>)、●リスクコントロール ☎042-480-1044 (<http://www.rakuten.co.jp/risk/>)、●イカリヤ ☎078-362-1112 (<http://www.ikariya.com/>)、●ビッグウイング ☎06-6167-3005 (<http://www.bigwing.co.jp/>)

## PART2



いまこそ  
見つめ直そう(注)!

※注: フラッシュライトの光源を直接見つめ直すなんてバカなマネはしないように!!

首都圏の交通網に混乱と打撃を与えたドカ雪の中、果敢にもフラッシュライト検証ロケに挑んだ我々を常春の房総が暖かく包み……んなワケないじゃん。気温ただいま3℃、なおも絶賛下降中。頼みは房総最強の罾猟師が捕らえた動物性たんぱく質とココロを照らすフラッシュライトの明かりのみ。さあ、ライトを灯せ! 肉を焼け! 俺たちには明るい明日とライトがあるさ! いつでもどこでもどんな時でも諦めてはいカンデラ。



罾師と編集師がすっかり意気投合、ミリタリー好きと狩猟家の夜は尽きまじ。



さあ肉が焼けましたわよ皆さん。とフェニクスHP11の明かりの中でジビエを切り分けるシェフ。



いやあ、タマにはこういうのもいいねえ。とヘンリー氏。



食事のあとのデザートに鹿肉スモーク。食後のお肉は大盛りで。



片手にライトを持つとお箸が使えなくなることに気がつき愕然とするオリモト。かくるうえはスパイクベゼルでブスリと……。



The US Marine Corps'

# New M27 Infantry

海兵隊の新型分隊支援火器 M27 IAR

●Photos & Text by Robert Bruce, USA Military Affairs Editor  
●Translation by Yu P. Eiwaikae

# Automatic Rifle



「基地内と前線での極めて厳しい試験手順と、海兵隊全体から厳選された小火器の専門家たちによる極めて綿密な評価の結果、総司令官(海兵隊総司令大将)はM27歩兵用自動ライフル(M27 Infantry Automatic Rifle、通称M27 IAR)の制式採用を承認した。IARの配備により得られる優れた整備性、火力優勢の維持能力、装備重量の軽減、人間工学に基づく設計、特に強襲作戦時にも高いレベルで維持・発揮される精度の高いシステム性などは、我々の歩兵たちの能力をより強化することだろう」  
—ジョセフ・ブレンツラー少佐(広報担当)、2011年6月

2011年9月5日、アフガニスタン、キャンプ・レイザーネック。第25海兵連隊の分隊支援火器担当の海兵たちがM27 IARへの転換訓練をしている。この当時、彼らはM27を受け取ってから数ヶ月が経過したばかりだった。アフガニスタンでの運用で判明したことのひとつが、敵方から「狙い撃ちにされない」ということだった。SAWガンナーは目立つので真っ先に狙われる傾向が強かったのに対し、M27は敵の注意を引かない(M4によく似ているため)という特性があったのである。  
[Photo: US Navy photo by Petty Officer 2nd Class Jonathan Chandler]